

投稿日:2020年06月30日

タイトル:「ヤドリギ」

15時 00分 22℃ 天気:晴れ

皆さんは、ヤドリギ(宿り木)をご存知ですか?

最近はお花屋さんなどでブーケやリースとして使われることもあるようですが、実物を見たことはありますか?



左の写真の丸い物体がナナカマドの木に寄生したヤドリギです。ヤドリギは少し変わった植物で、自分でも葉緑素を持っているため光合成はできますが、他の樹木の幹や枝に根を差し込み、水や栄養をもらって成長していきます。このような植物を半寄生植物といいます。



寄生する木はケヤキやブナ、ミズナラなどの落葉樹です。自然の家ではシラカバの木に寄生しているヤドリギを多く見ることができます。

花の時期は2月～4月ごろで11月～2月頃に実をつけます。この実の種はべたべたの粘着質でおおわれています。



冬に日本に渡ってくる野鳥のレンジャク、ヒレンジャクはこの実が好物で、食べて木の上でフンをすると、消化されずに出てきたべたべたの種が幹や枝にくっつき、やがてその種から寄生根が伸び寄主に固定されヤドリギは成長していきます。

左の写真はシラカバの幹にヤドリギの寄生根が入り込み、新しい芽が出てきているところです。

多い時には、一本の木に 10 個近くのヤドリギが寄生しているケヤキやシラカバもあるようですよ。

今は寄主の葉が生い茂り、なかなか見つけることは難しいかもしれませんが、葉の落ちた冬にぜひヤドリギを見つけてみませんか？「ヤドリギを見つけると幸せになる。」という言い伝えもあるようですよ。 (S)